

【主催】福岡県立少年自然の家「玄海の家」令和7年1月11日（土）～1月12日（日）

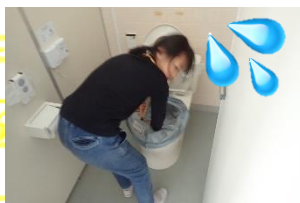
玄海BOSAIキャンプ

【1日目】

GRIPレクリエーション

1泊2日を共にする仲間たちとまずは仲を深めるためにGRIPレクリエーションを行いました。

初めは緊張した様子でしたが、徐々に打ち解けていき、班の中での会話も増え、協力する姿も見られました！



簡易トイレ設置

今回のBOSAIキャンプでは、電気・ガス・水道が使えない状況の中で避難体験をするというものだったため、子どもたちは簡易トイレを使用しました。

「本当にこれでトイレするの？」と、初めての簡易トイレに子どもたちは不安や抵抗を感じていました。

自助・共助タイム

各班別の研修室に移動し、その中で約24時間の避難体験をしました。限られた物資の中で、班の仲間と知恵を出し合って段ボールで寝床を作ったり、ひもで段ボールを切って繋げたりと様々な工夫をする子どもたちの姿が見られました。

また、感染者が避難所に到着した設定で使える部屋が半分になったり、避難所が崩れたという設定で他の研修室に移動してせっかく作った寝床を移動させなければいけなくなったりもしました。しかし、実際の避難所で起こりうる出来事に直面した子どもたちは戸惑いながらも班の仲間と助け合いながら1日目を乗り切ることができました！



【主催】福岡県立少年自然の家「玄海の家」令和7年1月11日（土）～1月12日（日）

玄海BOSAIキャンプ

【2日目】

炊き出し体験

実際に全国の被災地で炊き出しをしている“チーム田中屋”さんが来てくださり、炊き出し体験を行いました。

1日目から満足するような食事をとることができず、さらに冷たいご飯しか食べられなかった子どもたちは目の前に並んだ豊富で温かい食べ物に身も心もあったまりました♪何度もおかわりする姿もみられ、子どもたちは大満足でした！



講話

炊き出しをしてくださった“チーム田中屋”さんに実際の被災地の現状や思いについて講話をしていただきました。

この講話を聞いた子どもたちは、より一層日常のありがたみや、普段の生活が当たり前でないことを実感しました。



参加者の声

- ・自分の家にも避難バックがあるけど、全然足りないことが分かったからもっと増やそうと思った。
- ・電気や水道、ガスが使えなくて不便だったけど、日々の当たり前に感謝できた。
- ・当たり前ではない生活を体験できてよかった。
- ・もっと防災について知りたい。